

研究主題 中学校学習指導要領の趣旨・内容を踏まえた指導の改善

I 団体の概要

- 都内公立中学校の数学科教員をもって構成する数学教育研究会。
- 中学校数学教育の向上を図ることを目的とし、会長のもと会員相互の自主と協調のもとに、以下の5部会・8委員会を組織し、数学教育全般にわたる研究活動を実施。（本年度、指導法委員会は活動休止）

5部会 庶務部・研究部・調査部・広報部・会計部

8委員会 研究部内に、数式委員会・教育課程委員会・指導法委員会
図形委員会・確率統計委員会・評価委員会・導入法委員会・関数委員会

II 主な年間活動

●運営に関する会（総会）・講演会の開催

- 令和5年5月13日(土)
於 練馬区立開進第二中学校 セミナーハウス（松山館）
- ・指導改善に向けた大学教授等による講演会
演題 「数学的活動の具体化に向けて
～思考の飛び石を活かした指導～」
講師 文教大学教育学部 教授 永田 潤一郎 先生

●数学指導技術向上研修会の開催

- 【本研究会と東京都教職員研修センターが連携研修として開催】
令和5年8月18日(金) 於 北区立王子桜中学校
- ・若手、中堅の都内数学科教員を対象とした研修会の企画・運営

●研究部委員長研修会の開催

- 第1回 令和5年6月16日(金) 於 新宿区立西早稲田中学校
第2回 令和5年10月13日(金) 於 新宿区立西早稲田中学校

●研究大会への参加

- ・第105回全国算数・数学教育研究（青森）大会
令和5年8月10日(木) 【教育課程委員会・関数委員会】
- ・第78回関東甲信静数学教育研究神奈川大会
令和5年11月2日(木)
【図形委員会・関数委員会・確率統計委員会】

●第61回研究発表大会の開催（予定）

- 令和6年2月17日(土)13:30～ 於 新宿区立西早稲田中学校
- ・指導改善に向けた大学教授等による講演会
演題 「学びの連続性を踏まえた中学校数学科の授業づくり」
講師 千葉大学教育学部 教授 松尾 七重 先生
 - ・領域等における指導改善の実践と研究成果の発表
【調査部及び、研究部7委員会】
《各委員会及び、調査部の発表テーマ》

教育課程	主体的・対話的で深い学びを追究した授業づくり
確率統計	PPDAC サイクルを意識した指導
導入法	「誤差や近似値」の指導法の提案
図形	型にとらわれない証明問題の論述指導
関数	変化の割合の概念・意味の理解 ～具体的な場面を通して～
評価	学習指導要領における評価の在り方について (6) ～ルーブリックを用いたインタビュー形式での評価の試行～
数式	主体性を育てる指導の工夫 ～自ら見通しをもつことのできる生徒の育成～
調査部	「数学教育推進にかかわる実態調査」の結果の分析と報告

●その他の活動

- ・講演会、研究部活動、地区活動の報告をまとめた会報誌および、研究発表集録の発行 【広報部】
- ・都内公立全中学校対象「数学教育推進にかかわる実態調査」の実施および、結果の分析と報告 【調査部】

Ⅲ 令和5年度 数学指導技術向上研修会について（報告）

●取組の内容

- ・受講生と助言者（本会役員及び委員会所属委員）の対面による集合型研修で、受講生を事前アンケートから指導領域ごとに7つの班に編成し、班ごとに受講者が持参した指導案について、協議・検討後、助言者からの指導・助言を行った。
- ・本年度は4名の講師の先生からの指導の時間を確保するため、第1回を動画視聴で行い、本研修会を第2回とした。

●成果

集合型研修による成果

- 受講者が持参する指導案がほぼ同領域となる小グループの編成ができたことで、受講生同士の活発な意見交換につながった。
- 小グループの分科会で、指導案の形式、教材観、評価計画や本時の展開など、幅広く丁寧な指導・助言が実施できた。
- 事前の動画による研修を実施したことで、学習指導案の作成について細かなアドバイスができ、協議内容が深まった。
- 分科会後の全体会では、講師の先生1名当たりの時間を増やせたことで、実りある指導・助言が実現した。

◎受講生アンケートからわかる成果

- 以下のような肯定的感想が多数寄せられた。
- ・助言者の先生にたくさん指導していただいた。また、実践事例を話していただいた。
 - ・初歩的な質問に対しても丁寧に回答していただき、安心して研修に臨めた。
 - ・自身の授業を見直す機会となった。
 - ・指導案の作成したことで色々と課題が見えた。また、授業の導入をより深く考えることができた。

◎講師・助言者アンケートからわかる成果

- ・受講生と助言者が1対1できめ細かい助言ができた。
- ・同じ領域でグループ分けをしたため、意見が出しやすかった。
- ・各グループで運営の仕方を工夫していて良かった。

●課題

- ◎動画視聴を効果的に活用したり、分科会の運営方法を工夫（1グループの人数を減らす、流れを明確にするなど）して、受講生一人当たりにかかる時間をより多く確保する。
- ◎参加者を増やすために、周知方法の工夫や研修の申し込み期間の調整を図る。



少人数で編成した分科会では、具体的できめ細かい指導が実践できた。（左図）また、模擬授業を取り入れた分科会もあった。（右図）

<令和5年度連絡先>

団体名		東京都中学校数学教育研究会
代表者	所属	国分寺市立第一中学校
	職 氏名	校長 榎本 圭志
	連絡先	042-322-0641
事務局	所属	板橋区立板橋第二中学校
	職 氏名	校長 柳澤 忠男
	連絡先	03-3956-8121
団体ホームページ		URL
		https://www.tochusu.com
		二次元コード